

野菜輸入レポート（2020年1-6月速報値）

2020.8.4

○ ポイント

1. 1-6月の野菜輸入量：134万8033トン（前年同期比94%）

（以下、割合は前年同期比）

うち①生鮮野菜 37万2098トン（81%）、②冷凍野菜 53万8464トン（100%）、③塩蔵等野菜 3万8323トン（91%）、④乾燥野菜 2万1585トン（88%）。

2020年1-6月は、主要な輸入先国である中国で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が発生したことで生産や港湾作業が停滞したこと、その後、わが国でもCOVID-19の感染が拡大し、4月から5月までは緊急事態宣言が発令されたことで、家庭内需要は大きく伸びたものの外食需要が激減した。緊急事態宣言解除後の6月は、旺盛な家庭内需要が継続する中、国産野菜が、播種及び定植期の過乾燥、その後の大雨による過湿、寡日照等に起因する市場価格高となったものの、外食需要が回復しなかったことに加え、輸入先国の不作傾向、COVID-19による港湾作業の遅れ等から、生鮮野菜をはじめとした野菜輸入量は前年を大幅に下回った。

2. 輸入野菜上位品目

- ①生鮮野菜：たまねぎ 10万5544トン（69%）、かぼちゃ 7万4295トン（97%）、にんじん 3万5849トン（93%）、ねぎ 2万2802トン（77%）、ジャンボピーマン 1万8714トン（89%）。
- ②冷凍野菜：ばれいしょ 19万4085トン（100%）、その他の冷凍野菜 16万370トン（101%）、えだまめ 3万8471トン（100%）、ブロッコリー 2万9165トン（100%）、スイートコーン 2万5496トン（100%）
- ③塩蔵等野菜：その他塩蔵等野菜 1万6507トン（87%）、きゅうり及びガーキン 9418トン（111%）、しょうが 6825トン（84%）

3. 輸入先国上位3位

- 1位 中国 64万2651トン（90%）うち生鮮たまねぎ 9万9263トン（72%）、生鮮にんじん 3万3479トン（98%）、冷凍ほうれんそう等 2万707トン（94%）
- 2位 米国 24万2268トン（94%）うち冷凍ばれいしょ 14万3263トン（101%）、トマト加工品 2万8130トン（111%）、にんじんジュース 1万1709トン（107%）
- 3位 韓国 3万155トン（98%）うちジャンボピーマン 1万6293トン（86%）、その他調整野菜 1万302トン（125%）

○ 野菜輸入動向（2020年1-6月速報）

（単位：t、千円、円/kg、%）

類別	品名	2020年1-6月			対前年比	
		速報数量	速報金額	速報単価	数量	単価
生鮮野菜		372,098	41,585,653	112	81	103
	1 たまねぎ	105,544	5,215,233	49	69	98
	2 かぼちゃ	74,295	5,580,841	75	97	91
	3 にんじん	35,849	1,460,773	41	93	89
	4 ねぎ	22,802	2,445,368	107	77	91
	5 ジャンボピーマン	18,714	6,222,452	333	89	104
冷凍野菜		538,464	99,388,571	185	100	98
	1 ばれいしょ	194,085	26,805,376	138	100	96
	2 その他の冷凍野菜	160,370	35,142,025	219	101	98
	3 えだまめ	38,471	8,746,538	227	100	99
	4 ブロccoli	29,165	6,021,077	206	100	98
	5 スイートコーン	25,496	4,416,651	173	100	99
塩蔵等野菜		38,323	4,664,901	122	91	103
乾燥野菜		21,585	17,984,895	833	88	111
酢調製野菜		14,734	3,636,776	247	91	101
トマト加工品		152,772	18,174,542	119	112	99
その他調製野菜		200,878	48,808,643	243	101	101
その他		9,180	1,669,927	182	122	97
	合計	1,348,033	235,913,908	175	94	102

資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：財務省「貿易統計」

※詳細はベジ探をご覧ください(<https://vegetan.alic.go.jp/import-export-trends/latest.html>)